

9年ぶりの優勝

渋谷で走る会
鹿島田浩二

クラブカップリレー 2006年9月18日 長野県駒ヶ根市

クラブカップ優勝に輝いた「渋谷で走る会」。アンカー・鹿島田が、レースとそれまでの取り組みを振り返る。



優勝インタビューの後、喜びを爆発させるメンバー

選手起用の決断

「1走 加賀屋、2走 羽鳥、3走 坂本、4走 山本、5走 志村、6走 篠原、7走 鹿島田、今年のAチームのオーダーはこの順でいこうと思う」

監督の加賀屋氏がそうメンバーに告げたのは前日の夜の7時。夕食を終えた面々はだまってきたまうなずいて自分の役割を改めて頭でイメージしていた。あらかたAチームのメンバーは事前に指定された参考レースで決まっていたが、走順は前の日に決めるというのが渋谷で走る会の伝統である。

話は遡るが加賀屋が監督に就任したのは、7月10日の未明、あの世界を驚かせたジダンの頭突き直後である。4年に1度、ワールドカップ上位国トトカルチョの成績で監督を決定するのが我々の慣習であるが、加賀屋はイタリアの優勝を見事的中させ、前回の2002年に続いてCC7の監督に就任した。ナンセンスな決め方のようにも思えるが、これがまた意外とまともな人選になるのだから不思議だ。

選手起用のスペシャリスト加賀屋でも、今年は、例年に比べると選手起用の難しい年でもあった。渋谷のメンバーもこの1年で実力が大きく変動している。日本代表であった篠原、鹿島田は、今年はオフでレース自体が少ない。代表コーチや東京都監督など指導者として多忙な日々を送る加賀屋自身も父親となりこの1年レース数は極端に減

った。反面今年加入した期待の新人坂本は全日本6位、ユニバー代表と勢いがある。WOC2005後に厳しいトレーニングで10kgのダイエットに成功した羽鳥は、精悍な顔つきを取り戻している。

加賀屋が最後まで迷っていたのは、レースのスタートと最後を飾る、1走と7走だったと思われる。結果的には1走は加賀屋自身、7走は鹿島田を選んだ。どちらも今年に限れば未知数の二人である。7走は客観的に見て今もっとも速い坂本という選択肢もあった。しかしトレインの性質、コースの特殊さ等を考えて、坂本のスピードは3走で生かし、7走はベテランにまかすという決断をした。

勝因の分析

さて実際のレース展開は如何様だったか。結果から見るとレースは序盤から安定した展開で中盤から徐々に差を広げる。出過ぎることもなく出遅れることもなく思惑通りの展開となる。終盤のテクニカルなコースでレースは若干荒れるが結果的には10分の大差による勝利だった。おかしなもので勝つときにはあっけなく感じる。9年ぶりの勝利が不思議なように絵に描いたようなレース展開であった。

しかし、当たり前のように見えるレースもそれなりの勝因があってこそ達成されたものと改めて感じる。

一つは、メンバーの中で「今年は勝つチャンス」という認識が共有されていたことである。思い返せば7月までの時点では、メンバーがどれだけ準備しているかわからない状況であった。しかし今年は勝てるという意識が、夏の間準備に繋がり、9月のレースまでにメンバーをそれなりの状態に整えさせたのだと感じる。

二つめは当日、メンバー全員が100点とはいわないまでも70点以上のレースをした点である。リレーでは大きなミスをしたくないことが大切であることは勿論であるが、多くの選手がミスを重ねる中で、ライバルチームの中でも平均して満足度の高いレースをしたのは渋谷であったと感じる。これには展開を読んで各人が走りやすい走順を選んだ監督の采配の妙もあった。

会の中で切磋琢磨

今年の渋谷で走る会のもうひとつの

収穫は久しぶりにBチームが正規チームとして完走したことである。渋谷は決して人数の多い大クラブではないが、一人でも多くの方が輪に加わって時間を共有できればそれだけ素晴らしい経験となる。かつてインカレを沸かせた、美濃部夫妻、禅洲君を始め、浜端君も来年はAチーム入りを目指してトレーニングしてくれるだろう。

渋谷で走る会の紹介

さて、少し最後に渋谷で走る会の紹介をします。渋谷で走る会は東京都渋谷区の「織田フィールド」で毎週水曜日の夜にトレーニングをしていたメンバーにより創立されたクラブです。現在はメンバーの多くが家庭を持っていることから水曜日のトレーニングに参加する可否かはあまり関係ありません。クラブ員は20~30代中心に現在24名+子供(8歳未満)8名と、にぎやかなファミリークラブになりつつあります。活動は、大会参加の他、忘年会やトレイルランなどのイベントを年数回行っていきます。

今まで悩みの種はクラブ員が個人単位で各方面に活動している(羽鳥氏、加賀屋氏など)ため、クラブとしての活動が活性化しにくいところにありました。しかし近年若い新メンバーも加わり、その傾向も変わりつつあります。我々の強みはそうしたメンバーによるOL界の各方面でのスキルであり、そうしたスキルを強みに、今後クラブとしての活動をより活性化していきたいと思っています。現在2年ぶりとなる都内でのパーク0大会も企画中です(詳細は後日発表予定)。

渋谷で走る会に興味のある方は是非、一度お気軽にご連絡下さい。

<http://homepage3.nifty.com/shibuya-o/>
(現在改定中、近日中にリニューアルします)
連絡先:

kassie@muh.biglobe.ne.jp

(代表 鹿島田)

qzs02341@nifty.com

(事務局 加賀屋)